



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 263

2018年

7～8月号

行 事 案 内

7月手賀沼探鳥会

期 日 7月8日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前8時
 案 内 今月からサマータイムとなります。
 第2機場駐車場のオープン時刻が遅いため、ヒドリ橋 第2機場道の駅 お立ち台の順に移動します。
 オオヨシキリが大きな声で迎えてくれるでしょう。オオバン、カイツブリ、コブハクチョウの幼鳥が見られるかもしれません。下見の結果次第でヨシゴイの浅間橋へも。
 暑さ対策を忘れずに！
 解 散 午前11時頃
 担 当 小澤

7月、8月手賀沼定点カウント

期 日 7月3日(火) 雨天延期
 8月7日(火) 雨天延期
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 解 散 正午予定
 担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮
 連絡先 桑森亮
 Tel: 04-7182-3149

8月手賀沼探鳥会

期 日 8月12日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前8時
 (サマータイムになります)
 案 内 夏の真っ盛りで、鳥の少ない時期ですが、手賀沼では、この時期にしか見られないコブハクチョウ、オオバン、カイツブリの幼鳥のかわいい姿が、期待されます。ヨシゴイも見られることを期待しましょう。
 暑さ対策と水分補給をお忘れなく。
 解 散 午前11時頃
 担 当 船津

7月、8月ビオトープ調査

期 日 7月5日(木) 雨天延期
 8月2日(木) 雨天延期
 集 合 手賀沼ビオトープ 午前8時30分
 (7-8月は通常より1時間早くスタートします)
 案 内 7-8月はビオトープ、沼岸が葦、蒲、マコモ等の抽水植物、葛、ヤブガラシ等の蔓性植物に覆われ、小鳥は見にくくなりますが、オオヨシキリが観察でき、上空をツバメが飛びます。また池、沼岸ではコブハクチョウの親子、田ではキジの親子が見られるようになります。昨年7月、8月は共に15種観察できました。木の花

はノリウツギ、ムクゲ、アジサイ、シモツケ、アベリア等が、野の花はネジバナ、ノカンゾウ、ヒメガマ、マツヨイグサ、ツユクサ等が咲き、その上を色々な蝶、トンボが飛び、多くの昆虫が叢に見られ、イタチも見られることがあります。夏のビオトープ周辺の風景、動植物を観察しながら、探鳥をしてみましょう。初めて参加希望の方は下記までご連絡の上、当日は五本松公園キャンプ場の駐車場に 8 時までにお越しください。

解 散 午前 10 時 30 分
担 当 鈴木静治
Tel: 080-3121-4757

三 番 瀬 探 鳥 会

期 日 9 月 2 日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 7:40 又は
ふなばし三番瀬海浜公園バス停 9:30
交 通 我孫子駅(常磐線快速) 7:52 発~
柏駅 7:56 着、
東武線柏駅(船橋行き) 8:05 発~
東武線船橋駅 8:35 着、
徒歩で京成船橋駅南口前 3 番バス
停へ、
船橋海浜公園行きバス 9:00 発~
終点下車 9:25 着
案 内 恒例になりました千葉県野鳥の会
との交流探鳥会です。
三番瀬は日本一のミヤコドリ渡来
地です。秋の渡りの時期でオオソリ
ハシシギ、チュウシャクシギ、メダ
イチドリなど多くのシギ、チドリ類
が観察できます。ミヤコドリはもち
ろんコアジサシ、アジサシも期待で
きます。
子供さん向けの「プランクトンの観
察」も行う予定です。
持 物 観察用具、弁当、飲み物、ぬれても
よい靴(長靴)、雨具
申 込 野口隆也まで(集合場所と携帯電話

番号をお知らせ下さい)

Tel: 04-7163-7898

担 当 相良、野口(隆)

映 写 会 及 び 懇 親 会

本年度も下記の如く、当会恒例の映写会と懇親会を開催します。

会員より応募いただいた写真、動画、スライド・ショー等の素晴らしい作品の数々を皆様と一緒に楽しみ、引き続き場所を変え食事をしながら映写会の批評や探鳥会の思い出話やゲームなどで親睦を深めたいと思います。皆様奮ってご参加ください。

< 映写会 >

日 時 7 月 15 日(日) 9:00~13:00

場 所 水の館 3 階研修室

内 容 会員の写真、動画やスライド・ショーなどの作品を映写して楽しめます。

(鑑賞のみの参加も大歓迎です。席の準備のため必ず事前にお申込みください。)

< 懇親会 >

日 時 7 月 15 日(日) 13:30~15:30

会 費 2,100 円

場 所 どん亭手賀沼店

我孫子市若松 94-2 電話 0471-89-8671
(乾杯時にビール、ソフト・ドリンクの何れを希望か事前にご連絡ください)

* 乾杯時の飲み物以外は個人負担になります。

申し込み / お問合せ

申し込み締め切り 7 月 7 日まで

申込 / お問合せ先 相良直己

Tel: 04-7191-3108

E-mail:

ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp
申し込み事項 氏名 映写会[参加有無、参加区分(発表者/鑑賞のみ)]

懇親会[参加有無、乾杯時の飲み物(ビール/ソフトドリンク)]

映写会のみ、または、懇親会のみ希望の方はその旨を明記ください。

申し込み例 手賀沼太郎 映写会 参加

発表者) 懇親会 (参加 ビール希望)
申し込み例 我孫子花子 映写会のみ
参加 (鑑賞のみ)
申し込み例 我孫子次郎 懇親会のみ
参加 (ソフト・ドリンク希望)

担当 映写会 相良直己・石渡成紀
懇親会 坂元貴子・野口紀子・
石井俊子・古出洋子

人気のホテルスポットです。身近にある貴重なホテルの棲息場所を訪れ、自然環境の素晴らしさを体感してみましょう。

申込 不要
担当 木村、桑森

ホテルの夕べ

期日 8月5日(日) 雨天中止
集合 東我孫子駅前 午後7時
持参 懐中電灯、虫除け対策
解散 午後8時30分目安 東我孫子駅前
案内 毎年恒例の当会と鳥の博物館友の会との共催による岡発戸谷津田でのホテル鑑賞会です。岡発戸・都部谷津の整備が進み、近年はホテルの観察数が増えており、昨年は一昨年と比べて減少したものの108頭を観察し、毎年100頭以上を記録しています。この地は我孫子近辺では

7月役員会案内

日時 7月8日(日) 13:00~15:30
場所 水の館 3F 研修室
議題 市民のチカラまつり 2018への
出展
JBF2018 への出展
会報 264号掲載予定記事
30年度第1四半期会計報告
報告事項
・新入会員オリエンテーション
実施結果
・対外活動状況 他
その他(議題のある場合は桑森
までご連絡ください。)

行事報告

4月手賀沼探鳥会

日時 2018.4.8 9:00~12:00
晴れ 微風 15

2日前の下見では、強い北風で沼面は白波立ち、歩行も困難な状況で、当然ながら本番当日での影響が心配でしたが、一転、快晴とも云えるほどの好天に恵まれた探鳥会になりました。

葦原は、その強風で疎らになり、視界が良く、北千葉導水(第2機場)ではコガモ、カワセミ、トビを見て、ホオジロのさえずりを耳にし、ヒドリ橋へ遊歩道に行く。ユリカモメの飛翔を横目に、カンムリカツブリの夏羽直前の姿は、日当たりも良く映えていた。

ヒドリ橋では、枯れたナガエツルノゲイトウの“浮島”が散見し、カツブリ、コバクチョウも迷惑そうに泳いでいた。クイナもバンも見当たらなかった。心配した通り鳥影が薄く、常連のミサゴからも見離され、次のポイント、道の駅へトイレ休憩に。

ハス田をパスし、お立ち台から染井入落まで、コチドリをターゲットに歩むと、水路直前の田んぼに2羽が姿を見せてくれた。予告していた手前、居なかったらと内心不安一杯だったので、ほっとした。

お立ち台までの帰路、意外にも残留のヒドリガモ3羽、コバクチョウの営巢中を認め、少し北風が強くなり肌寒くなってきたので、早めに引き上げることになりました。

鉄塔に到着したハヤブサや、車中からサシ

バを認めた幸運な方もいて、参加者数 35 名、一人当たり 1 種をやっとクリアーしたひやひやの探鳥会でした。

< 認めた鳥 > キジ、コブハクチョウ、ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、コチドリ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、サシバ、カワセミ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 37 種
番外 カワラバト

< 参加者 > 松村寿夫、坂元貴子、齋藤和夫、肥後邦彦、類地佑子、嶋崎省、常盤孝義、村瀬和則、千葉洋、相馬唐代子、西城猛、西嶋昭生、松田幸保、間野吉幸、関口英治、関口優香、桑森亮、佐藤さなえ、鍋倉妙子、野倉元雄、渡辺政一、落合聡、宮本秀樹、小林博之、野口隆也、金子雅幸、野口紀子、古出洋子、高波宜子、相良直己、船津登、佐和橋みどり、石井俊子、石渡成紀（担当）松本勝英 計 35 名

4 月手賀沼定点カウント

調査日時 2018.4.5 9:00 ~ 12:00
曇り 北風冷たし 14 ~ 16

やや強い北風で気温よりもかなり寒く感じた上に、例年通り手賀沼の水位が上がったため、干潟はもとよりハス田も水没し、広い湖面だけが目につく寂しいカウントとなった。

この処の異常な高温のためか例年よりも北帰行が早い様子で、帰りの遅いコガモの数も昨年の半分ほど。一方、コブハクチョウの抱卵が何か所かで確認された。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	8	20	28
オカモ	3	0	3
ヒドリガモ	0	4	4
カルガモ	43	15	58
コガモ	72	15	87
ホシヅメ	0	1	1

カイツブリ	7	6	13
カンムリカイツブリ	3	0	3
カワ	8	44	52
アオサギ	7	2	9
ダイサギ	2	0	2
コサギ	2	2	4
ヒクイ	1	0	1
バン	0	2	2
オオバン	45	49	94
ユリカモ	38	10	48
セグロカモ	1	2	3
合計	240	172	412

< 調査者 > 桑森亮、船津登、金子雅幸 計 3 名

4 月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2018.4.5 9:30 ~ 11:00
曇り 弱 ~ 中位の風 15-16

沼畔のソメイヨシノの花は殆ど散り、斜面林は白・黄緑・若草色等の新緑が出、山桜、八重桜、花桃が咲く。今年は最近暖かいせい例年より野草の花、木の花は早く咲く。ビオトープの池ではカルガモ、コガモ、バンが泳ぎ、葦原ではアオジ、ジョウビタキ、ホオジロが動き、その上をカワラヒワ、ホオジロ、モズ、ユリカモメが飛ぶ。林にはヒヨドリ、ムクドリ止まる。池の中島でコブハクチョウが営巣、抱卵中、高い樹にハシボソガラスが営巣、抱卵中。沼岸近くをカルガモ、オオバンが泳ぎ、カイツブリが鳴き、葦原をアオジ、ホオジロが動き、モズが木の間を飛び、カワウが水面上を飛び、ユリカモメ(内 1 羽頭の黒い夏羽)、セグロカモメが上空を飛ぶ。葦原でコブハクチョウが営巣、抱卵中。田は田植え待ちの乾田のため鳥は見られない。沼の水位は高い。野鳥 19 種 74 羽、他に木の花 7 種、新芽、葉は 5 種、実 1 種、野草の花 16 種、花穂 5 種、新芽、葉 5 種、蛙 1 種、蝶 1 種、バッタ 1 種、蠅 1 種、魚 1 種を観察しました。

< 認めた鳥 > コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、モズ、

ハシボソガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ 計 19 種
 < 調査者 > 鈴木静治、池田日出夫、間野吉幸、千葉洋、蒲田知子、古出洋子 計 6 名

5 月手賀沼探鳥会

日 時 2018.5.13 9:00~11:30
 微風 20

定例探鳥会に代えて、「Enjoy 手賀沼！」イベントの一環としてバードウィーク手賀沼探鳥会を実施しました。毎年、我孫子市鳥の博物館と当会との共催、山階鳥類研究所の後援により実施しているもので、一般市民を対象とした探鳥会です。

この日は曇り空でポツリポツリと雨の気配がありましたが、多くの方々を訪れ、一般参加者数は 55 名、当会員 34 名、鳥の博物館員（ガイド）1 名、合計 90 名で、何とか最後まで降られず探鳥会を終えることができました。水の館周辺と親水広場でも、「Enjoy 手賀沼！」イベントなどで多くの家族連れで賑わっていました。

コースは、昨年同様に手賀沼遊歩道に沿って、1 時間コース（2 班）と 2 時間コース（3 班）で探鳥を行いました。曇り空でやや風がありましたが、ほぼ例年並みの鳥の出具合で、キジの鳴き声とホ口打ちも見られ、オオヨシキリが盛んに囀っていました。水辺にはコブハクチョウの親子の姿が二か所で見られ、孵ったばかりの雛の微笑ましい姿が印象的でした。

両コースとも当会のスタッフによるガイド、鳥の博物館小田谷学芸員の説明に耳を傾けて下さいました。市民の皆さんには手賀沼周辺の環境の素晴らしさをご理解いただくとともに、身近にこんなに多くの鳥がいるんだという声も聞かれ、探鳥の楽しさを味わっていただきました。

1 時間コースでは親子連れを中心に 24 名（市内 15 名、市外 9 名）が参加し、認めた鳥は 23 種+番外 1 種の計 24 種、2 時間コースでは 31 名（市内 17 名、市外 14 名）が参加し、認めた鳥は 29 種+番外 1 種の計 30 種、

両コース合計では 30 種+番外 1 種でした。

最後に、鳥の博物館で鳥合せを行い、恒例の鳥ビンゴを確認、景品の写真カードをプレゼントしました。お子さんたちからは美しい鳥の写真に歓声が上がっていました。

< 認めた鳥 > キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、オオバン、コチドリ、タシギ、トビ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計 30 種 番外：カワラバト

< 参加者 > 西城猛、徳重玲子、佐和橋みどり、野口隆也、田中功、松田幸保、小林美智子、小林博之、相馬唐代子、小林寿美子、野倉元雄、渡辺政一、嶋崎省、石井俊子、西嶋昭生、梶原裕美、落合聡、石渡成紀、鈴木静治、森本宜久、宮本秀樹、坂元貴子、坂元孝行、内田佳穂子、金子幸子、間野吉幸、川越久枝、船津登、阿部修三、阿部真弓、古出洋子、野口紀子、鈴木美枝、（担当）桑森亮 計 34 名

5 月手賀沼定点カウント

調査日時 2018.5.1 9:00~12:00
 快晴 23 ~ 27

前年より 6 気温が高かったが、コガモが約 1/3 と少なかったのを除けばほぼ前年ペース。

オオヨシキリは上沼ではやっと葦の中で囀りを始めた感じだが、下沼ではもう先端で盛んに囀っている。この差はどこから来るのか？

曙橋付近で水のない田にムナグロの群れが景色に溶け込んで休んでいるのが見られ、我々が近づいて観察しても飛ぶ気配さえみせなかった。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	12	20	32
カルガモ	2	13	15
コガモ	32	0	32
カイツブリ	10	8	18

かむりかいつり	1	0	1
カワ	32	34	66
アオサギ	6	2	8
ダ イキ	1	0	1
チュウサギ	0	2	2
コサギ	1	0	1
オオバン	7	19	26
ムナグロ	0	132	132
合計	104	230	334

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸 計 3名

5月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2018.5.2 9:30~ 11:30

曇り 微風 24

先月見られた冬鳥(アオジ、ツグミ、コガモ、ユリカモメ、セグロカモメ、ジョウビタキ)、サギ類は見られず、夏鳥(オオヨシキリ、ツバメ)が観察出来た。ピオトープの池ではカイツブリが泳ぎ、中島でコブハクチョウが抱卵中。林では楠に2ヶ所ハシボソガラスが営巣。ホオジロが多く、木の梢の若葉中で囀る。カルガモ、カワラヒワ、スズメ、コゲラが飛ぶ。草の茂みでコジュケイが鳴く。沼岸の葦原でオオバン、カイツブリ、オオヨシキリの鳴き声が聞こえる。コブハクチョウが岸近くを泳ぎ、カワウが上空を飛ぶ。沼の鳥は少ない。水の入った水田でカルガモ2羽が泳ぐ、ハシボソガラスが畦で餌探し、水面上をツバメが飛ぶ。野鳥は15種41羽。他に木の花7種、実1種、野草の花24種、花穂、実12種、蛙3種、蝶7種、甲虫3種、蜂、蠅4種、魚1種を観察しました。

<認めた鳥>コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、オオバン、コゲラ、ハシボソガラス、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、コジュケイ、カワラバト 計15種

<調査者>鈴木静治、千葉洋、間野吉幸 計3名

葛西臨海公園探鳥会

4月21日

~春爛漫の葛西臨海公園での探鳥~

渡辺政一

臨海公園は、20年前に近所に住み、家族とちよくちよく遊びに行った懐かしい場所。探鳥会があると知って早速申し込む。初見の鳥に会える期待も。

この時期の臨海公園は、木々が萌え花々が咲く春爛漫の景色で、それらを楽しむ大勢の人の中で我々も張切って出発。

最初に迎えてくれたのはオナガ。頭上を右往左往するも木には止まらない。姿はシルエットでしか見えなかったが、家の周りでは聞かれなくなったギャーギャーというだみ声を久しぶりに聴く。

次は、散策路を抜けて西渚が見える岸辺に。ここではアジサシ?がダイビングして魚を狙う光景を見せてくれた。その近くには釣人がおり、都会の鳥は人に慣れ遅しい。

しばらく歩き、鳥類園での昼食後探鳥再開。歩きだした直後、上の池ではユーモラスな丸い姿のゴイサギ、向かい側の下の池では愛らしい冠羽のキンクロハジロを観察窓から間近に見ることができた。さらに進み観察舎を見て回るが風も強く鳥影はまばら。

気を取り直して西渚に向かって出発。西渚は土曜日ともあって海を楽しむ人々でいっぱい。砂浜に足を取られながら探鳥スポットの東渚間近の護岸へ。

潮が引いた岸辺ではダイサギ、アオサギやカムリカイツブリなどがのんびりと採餌。お目当てのクロツラヘラサギの姿を求めて望遠鏡を奥に向ける。この場所で観察を続ける人が、他の鳥の中で白く点状に見えると教えてくれるも確認出来ず少々残念。名残惜しくも時間切れで引き返し、鳥合せをして終了。

臨海公園をほぼ一回りし少々疲れたが、青空のもと海辺で気持ちの良い探鳥ができて満足。

幹事の皆さん下見、事前連絡、案内などいろいろと気を遣っていただき、ありがとうございました。

【幹事報告】

春定番の葛西臨海公園探鳥会が今年も開

催され、30名と大変多くの会員に参加いただきました。毎年この時期に開催され、北帰行前のカモたち、冬鳥の小鳥たち、春の渡りのシギチに出会うことができ、毎年50種前後の探鳥ができる人気のコースです。今年も1週間前の下見では、至近距離でクロツラヘラサギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギを観ることができ、ミヤコドリの大きな群れもみることができました。オオルリも連日見られており、ウズラが話題になっています。いやでも期待が高まります。不安定であった天候が、本番当日は、一転して快晴、絶好の探鳥日和です。

葛西臨海公園は、臨海部の葛西臨海公園と、渚橋でつながっている島部の西の渚、東の渚の葛西海浜公園とで成り立っています。東の渚は野鳥保護区となっており、探鳥での立ち入りはできません。このため、探鳥は一般に3つのパートで行われます。

葛西臨海公園 林間部での小鳥類を中心とした探鳥

葛西臨海公園の鳥類園でのシギチ、サギ類、カモ類、猛禽類、周辺林での小鳥たちと臨海部の海岸でのカモ類、カイツブリ類、カモメ類、シギチなどの探鳥

葛西海浜公園西の渚と周辺水路でのサギ類、カモ類、カイツブリ類、カモメ類、シギチの探鳥

探鳥会当日は、葛西臨海公園駅に9時全員集合後、まずは林間部の探鳥から始めました。葛西臨海公園の探鳥では干潟の潮位によりその成果は大きく異なります。下見時は大潮の午前中が干潮でしたので、まず西の渚から探鳥を始めました。

本番時は、中潮で干潮が午後14:30です。到着時は満潮の状態です。干潟があまり出ていないので、お目当てのシギチは干潟のある東の渚の奥に集中していて、近くで観ることはできません。このため、林間部 鳥類園 西の渚と順番に周り、15時頃鳥合わせして解散の予定としました。

林間部では、最近まで見られたシロハラ、アカハラ、アオジなどの冬鳥がまだ残っているはずなのですが、残念ながらツグミのみしか観ることができませんでした。期待のオオルリも連日入っているとのことですが観

ることができません。昨年のアオバトのようなハプニングも無く、開始直後にオナガの群れが飛来してきたのが救いでした。

臨海部へ移動します。かなたにアジサシが飛翔している姿が見えます。遠いためアジサシの同定はできませんでした。行楽シーズンの土曜日であり、行楽客、釣り人が多く水路のカモ類は殆どみられず、スズガモとオオバンが見られる程度でした。下見時にウズラに出会うことができた上の池の繁みへ行ってみます。下見時には朝から晩まで30名程度のギャラリーがウズラを取り巻いていましたが、ギャラリーの姿が見えません。情報では昨日抜けてしまったのでは...とのこと

です。集合時間が早朝であったため、早めの昼食とします。ウォッチングセンターの近くで昼食を摂りました。下見時には、昼食場所の近くでクイナの声がし、3週間前にはクイナの姿を間近に見たのですが、本日は声も聞こえません。上の池のカモも一週間でめっきり減りました。先週見たオナガガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロは姿をみせず、オカヨシガモ、キンクロハジロがかるうじて残っていました。ツバメが舞い、カイツブリの音が響きます。

食後は、時計回りで汽水の下の池の周りを回りました。ここでも残念ながら擬岩の観察窓前でコチドリを観たのみで他のシギチに出会うことができません。ウォッチングセンター・スタッフの話では、数日前からアオアシシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギ等が入っているとのことでしたが...ウォッチングセンター近くの観察窓の真下に1羽のゴイサギが。手が届くほどの近すぎるゴイサギ、真っ赤な目が印象的です。

西の渚に向かって移動します。干潮の時間になり、旧江戸川河口前に三日月干潟が現れます。約30羽のミヤコドリが羽を休めています。コアジサシが飛んでいます。大潮並みの広い干潟にはダイサギ、コサギ、アオサギが餌をついばみ、ブラックフェースに変わったユリカモメやウミネコ、カモメなどの姿も見えます。サギ類に混じって2羽のシギが見えます。アオアシシギです。

西の渚に渡ります。干潮になり、十分に干潟は広がっていますが、残念ながらシギチの

姿は見られません。下見時には水路対岸の東の渚の岩礁にクロツラヘラサギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、オオソリハシシギ、オバシギが至近距離に出てくれたのですが... 行楽客が沢山入っている故なのかも知れません。スコープで遠くの東の渚を観察します。クロツラヘラサギが見えます。大きなシギも。遠すぎてダイシャクシギがホウロクシギかは判別できません。情報では、ダイシャクシギが4羽、ホウロクシギは1羽のみとのことなのでダイシャクシギとしましょう。

強い風が吹いてきました。予定より早め、西の渚で鳥合わせをして、14時半に解散することとしました。

同時期に開催した昨年は48種、一昨年は49種と50種前後の観察をしていますが、今年は41種プラス番外1種でした。猛禽も全く現れず、期待が高かっただけに多少残念な探鳥会となりました。

<認めた鳥> キジ、オカヨシガモ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、バン、オオバン、コチドリ、ミヤコドリ、ダイシャクシギ、アオアシシギ、コアジサシ、ユリカモメ、ウミネコ、カモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ 計41種 番外：カワラバト

<参加者> 浅野利幸、池田日出男、石井俊子、石渡成紀、岩本二郎、落合聡、金子雅幸、小林博之、佐和橋みどり、嶋崎省、鈴木静治、関口英治、相馬唐代子、田中功、多葉田五男、仲澤成二、鍋倉妙子、新堀暖人、新堀正則、野口紀子、野尻清敬、野尻恭子、船津登、百瀬喬、吉田隆行、渡辺政一、渡邊俊文(幹事) 桑森亮、相良直己、千葉洋 計30名

～お楽しみはこれから～

野尻清敬

当会に1月に入会して、初めての宿泊探鳥会への参加です。期待していたクマタカ、ヤマドリ、ヤマセミに出会うことは叶いませんでしたが、実に楽しい探鳥会でした。

[1日目] 常磐・外環・関越と渋滞に巻き込まれることもなく、バスは順調に最初の探鳥地、伊香保森林公園に到着しました。昼食後、森の中をすこし登ったところにあるシダ池は、人も生き物も賑やかなところでした。先着のバーダーたちに加わって待っていると、次々と野鳥が水浴びにやってきます。アカゲラ、クロツグミ、コガラ、シジュウカラ、ヤマガラ...。すぐ背後の岩場にシマリスも登場しました。その後、居残ってシダ池観察を続ける組と、森に入って探鳥する組に分かれました。迷ったのですが、木の枝でさえずる夏鳥が見たくて山歩き探鳥を選択しました。それほど急なアップダウンというわけでもないのですが、日ごろの運動不足がたたって辛い山道でした。見つけるのは難しいのですが、鳴き声は聞こえます。ホトトギス、カケス、ウグイス、センダイムシクイ、ミソサザイ、クロツグミ、コルリ、キビタキ...。自然は豊かで、野ウサギも見ることができました。合流後、シダ池ではコルリ、ヤブサメ、イカルが登場したことを聞いてビックリしました。

宿泊所も良いホテルでした。飲み放題付きバイキングと二次会での楽しいお酒に疲れが加わり熟睡してしまい、翌朝6時から鳥見散歩に遅れそうになったくらいです。(いつもは老人性早起症候群で目が覚めるのが早過ぎるのに...)

[2日目] 木のとっぺんでさえずるオオルリや、ホオジロ、キセキレイのおはようソングを聞きながら爽快な鳥見散歩ができました。宿を出発後立ち寄った四万川ダム上部で見た、「四万ブルー」と呼ばれる透き通ったコバルトブルーの奥四万湖の水面を泳ぐオシドリがとても綺麗でした。お弁当を調達した道の駅では、農協出荷所の軒下で可愛いイ

ワツバメのヒナの観察もできました。

碓氷湖畔での昼食後、周遊散策道の探鳥では、鳥のように聞こえるカジカガエル、ガビチョウ、ソウシチョウの綺麗な鳴き声を堪能しました。最後の探鳥地霧積湖では、ダム为天端でクマタカを探し、山道を歩いてヤマドリを探しました。出会いは次回のお楽しみにとっておきます。

ご一緒させていただいた達人の方たちのように、もっと上手に鳥を見つけられるようになりたい。鳴き声の「聞き分け」ができるようになりたい。樹々や花にも詳しくになりたい。シャッターチャンスを見逃さないようになりたい。

まだまだ先は長いな～。

そんなことを考えているうちに、バスは無事に我孫子に到着しました。

鳥見だけでなく、会員の方たちと色々なお話ができて楽しい時間を過ごすことができました。

幹事さん、お世話になりました。そして皆さん、次回もよろしくお願ひします。

【幹事報告】

今回は中型バス利用で26人の参加でした。天候が心配されましたが初日、2日目とも好天に恵まれました。

初日の伊香保森林公園ではシダ池中心組と森林も加えた探鳥組とに分かれました。シダ池ではアカゲラ、クロツグミ等たくさんの水浴びが観察され、森林ではホトトギス、コルリ、キビタキ等夏鳥の声を堪能できましたが姿は今一つでした。

2日目は奥四万湖面のブルーに感嘆し、一部オシドリも観察されました。碓氷湖ではガビチョウ・ソウシチョウ、霧積ダムではキセキレイ・イワツバメの飛翔が見られましたがクマタカ・ヤマセミは出現しませんでした。次回の宿題となりましたが、今春まで鳥博の学芸員でおられた岩本さんの参加で夏鳥の声を聞き分ける機運が大いに高まりました。<認めた鳥> キジ、オシドリ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ジュウイチ、ホトトギス、ツツドリ、トビ、コ

ゲラ、アカゲラ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ヤブサメ、センダイムシクイ、メジロ、ミソサザイ、ムクドリ、クロツグミ、コルリ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ 計41種

番外：ガビチョウ、ソウシチョウ

<参加者> 鍋倉妙子、古出洋子、坂元貴子、野口洋子、古賀道子、佐和橋みどり、相馬唐代子、多葉田五男、小玉文夫、森下悟、田中功、野尻清敬、新堀正則、大久保陸夫、津村勝吉、古賀嗣朗、船津登、桑森亮、渡邊俊文、浅野利幸、間野吉幸、渡辺政一、丸嶋紀夫、岩本二郎（担当）金子雅幸、野口隆也 計26名

柏市民活動フェスタ実施報告

今回、柏市が主催する柏市民活動フェスタ2018に当会も初めてパネル展示で参加いたしました。

柏市民活動フェスタは柏市に登録している市民活動団体の活動を紹介するイベントです。

5月13日(日)、当会は、柏駅前ハウディモールのイトーヨーカ堂前にブースを構えパネル展示で参加です。

JBFで作成したパネルを活用し、当会の紹介、手賀沼定例探鳥会のご案内、手賀沼の水鳥の変遷の紹介、入会のご案内を行いました。柏駅前のメインストリートであり、多くの通行の皆様、柏市民の皆様に当会をアピールする絶好の機会と考えていましたが、生憎の悪天候で、来場者も少なく、主催者の判断で土砂降りの雨で途中打ち切りとなりました。次回、好天時に再度挑戦してみたく思います。ご協力いただいた会員の皆様有難うございました。報告 担当幹事 相良

平成30年度定期総会報告

日 時 4月8日(日) 13:30~14:45

場 所 水の館3階 研修室

出席者数 35名

議案 1号議案 平成29年度事業報告(案)

2号議案 平成29年度決算(案)、
会計監査報告

3号議案 平成30年度事業計画(案)

4号議案 平成30年度予算(案)

議 事

開会宣言、会長挨拶、議長選出の後、各議案について報告・提案され、質疑応答を経て、審議の結果、全て提案通り承認・決議されました。なお、30年度予算(案)は一部金額を訂正し提案されました。

また、平成30年度事業計画の概要と平成29年度決算と30年度予算は次の通りです。

【事業計画の概要】

1. 探鳥会の実施

- (1) 定例手賀沼探鳥会(毎月第2日曜日)
- (2) 遠出探鳥会(宿泊探鳥会3回、日帰り探鳥会10回程度)
- (3) 第29回バードウィーク手賀沼探鳥会
- (4) 市民手賀沼探鳥会(我孫子市環境レンジャーとの共催)
- (5) 手賀沼親子ふれあい探鳥会(手賀沼流域フォーラム地域企画の一環)

2. 野鳥等の調査及び保護

- (1) 手賀沼水鳥の定点カウント調査
- (2) 手賀沼ピオトープの鳥類等調査
- (3) データベースの整備・構築
- (4) 傷病鳥の保護等

3. 環境保全活動

- (1) 手賀沼クリーン運動に参加
- (2) 美しい手賀沼を愛する市民の連合会の活動に参加

(3) 岡発戸・都部谷津のホタル観察会

4. 広報啓発活動

- (1) 広報活動
会報の発行、配付
対外広報
- (2) 啓発活動
探鳥会の指導
対外発表等
その他の活動

5. 創立50年に向けて「次の一步の取組み」

- (1) 新たな観点からの探鳥会の検討、実施
- (2) 会員を増やす活動の推進
- (3) 各種行事への一般会員の積極的な参加による活気のある活動、事業運営
- (4) 既存活動の深化と他団体等との交流の推進
ホームページ運営の新たな展開方策の検討
会報の内容充実をめざした「会報改善検討委員会」による検討
手賀沼周辺の身近な野鳥の生態資料のDVD化と希望者配付
野鳥サロン運営方法の再検討
各種啓発ツールの積極的活用

6. その他

- (1) メーリングリストの運用、有効活用
- (2) 新入会員オリエンテーションの開催
- (3) 会員撮影の野鳥等の写真、ビデオ、スライドショー映写会の開催
- (4) 会員の親睦行事の企画、実施(懇親会、芋煮会)
- (5) 定期総会、役員会、事務局会議の定例的開催
- (6) 行政機関等の委員会等への積極的参加

【決算と予算】

(単位:円)

項 目	平成29年度決算	平成30年度予算
収入の部		
会費	320,000	320,000
会行事収入	1,297,657	1,500,000
その他の収入	129,006	
前年度繰越金	815,922	850,824
合 計	2,562,585	2,670,824
支出の部		
野鳥の部	1,316,036	1,540,000
環境保全の部	0	2,000
啓発活動の部	206,817	300,000
庶務の部	77,652	114,000
その他の費用	11,256	150,000
別途積立金	100,000	100,000
次期繰越金	850,824	464,824
合 計	2,562,585	2,670,824

5月役員会報告

日 時 平成 30 年 5 月 13 日 (日) 13 : 30 ~ 17 : 00

場 所 北近隣センターつくし野館 会議室 2,3

議 事

1. 幹事の補充選任

間野会長が新任幹事に、佐和橋みどり氏、関口英治氏、高波宣子氏、渡辺政一氏の 4 名を推薦し、承認されました。

2. 平成 30 年度役員の仕事別分担について

事務局からの提案を検討し、一部を修正し決定しました。

なお、退任幹事、会長・副会長を除く幹事総数及び事務局体制は次の通りです。

【退任幹事】小林寿美子氏、村井みとい氏、2名

【幹事総数】22名

【事務局】桑森亮(事務局長)、金子雅幸、相良直己、野口紀子、野倉元雄 計5名

3. 平成 30 年度下期行事計画について

事務局からの提案を検討し、次の通り決定しました。

年/月	実施日(曜日)	行 事 内 容	担 当
30/10	2(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	4(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	7(日)	稲敷探鳥会	金子、松田
	14(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 事務局会議	Am 松田
30/11	1(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	2(金)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	3(土), 4(日)	ジャパンバードフェスティバル	幹事全員
	11(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 役員会	Am 松本
	25(日)~ 26(月)	伊豆沼・無楽沼探鳥会	桑森、鈴木
30/12	1(土)	親子ふれあい探鳥会	野口(隆)他 8名
	2(日)	統一クリーンデー、ふれあい清掃	小澤、野倉
	4(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	6(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	9(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 事務局会議	Am 坂元、佐和橋
	16(日)	芋煮会	全幹事
	23(日)	菅生沼・新川耕地探鳥会	野口(隆)、石渡
31/01	6(日)	江戸崎・和田岬・甘田探鳥会	小澤、松田
	8(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	10(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	13(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 役員会	Am 小澤
	20(日)	印旛沼・別所探鳥会	鈴木、桑森、西城
	27(日)	市民手賀沼船上探鳥会	松本他 3名
31/02	3(日)	亀成川を愛する会探鳥指導	間野他 8名
	5(火)	手賀沼定点カウント調査	桑森他
	7(木)	手賀沼ビオトープ調査	鈴木他
	10(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 事務局会議	Am 船津
	17(日)	行徳・江戸川探鳥会	相良、弘貫
	24(日)	大室公園・嶺公園探鳥会	船津、松本

31/03	5(火)	手賀沼定点ワウンド調査	桑森他
	7(木)	手賀沼ピオトーブ調査	鈴木他
	10(日)	Am 手賀沼定例探鳥会、Pm 役員会	Am 桑森
	17(日)	銚子・波崎ワモメ探鳥会	桑森、松本

4. ほーほーどり 263号掲載予定記事
会報 263号の掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。
5. 新入会員オリエンテーションの実施について
担当幹事が企画内容を提案し、異議なく承認されました。
6. 映写会、懇親会の企画について
担当幹事が企画内容を提案し、異議なく承認されました。
懇親会は、7/15(日)の 13:30~、「どん亭」で開催。会費は 2,100 円予定。
7. 報告事項
手賀沼親子ふれあい探鳥会 (12/1)
企画書に基づき検討し、提案通り了承されました。
手賀沼定例探鳥会の安全確保
担当幹事の提案を基に検討し、次の対応策が大綱了承されました。
・探鳥会の都度、安全確保指導員を 2 名 (参加者数に応じて増員) 任命し、列の中央部及び最後部に配置する。
・担当リーダーと安全確保指導員は会の腕章を着用する。(会名入りベストの作成・着用を検討する。)
・参加者は探鳥時に一列で歩き、はみ出さないよう注意する。
・担当リーダーは、探鳥開始時に、一列歩行、自転車注意について注意喚起する。
・ふれあい緑道利用案内看板の設置とメンテナンスなどの安全確保について、柏土木事務所に再度要望し、美手連を通じて申し入れる。
柏市民活動フェスタ (5/13) 出展状況
市民のチカラまつり 2018 (9/22,23) の出展申込み
対外活動報告 (美手連関係、JBF2018 関係等)
事務局報告事項
8. その他
・行事計画の検討の際、遠出探鳥会の下見費用等の取扱いについて疑義が出されました。これを受け、現状ルールと探鳥会が中止になった場合の取扱いについて議論し、中止の際はその下見費用を会の費用から支出することを含め、事務局が取扱い案を整理し、次回役員会で再検討することになりました。
・事務局から、ここ 2~3 年、新入会者が増加しているため、新しい会員から会の運営に関する意見や要望等を聞く懇談会の開催が提案され、その方向で検討することが了承されました。

以上

鳥 だ よ り

チュウサギやアマサギ、コチドリ、サシバ、センダイムシクイなど、夏鳥の初認が続きました。ホトトギスも鳴き出し、いよいよ夏到来です。
イソヒヨドリの報告があります。本来海辺などに棲む鳥ですが、昨今は我孫子駅の周辺に住み着き話題になっています。都会型イソヒヨドリとなって行くのでしょうか。

タカブシギは 2011 年 10 月 16 日以来の登場です。その他イソシギやチュウシャクシギなど、旅鳥のシギ達が飛来し賑わいました。

6 月は梅雨に入り鳥影が薄くなりますが、オオバンやコブハクチョウなどが小さな雛と共に餌をついばむ姿はこの時期ならではのもの。心を和ませてくれますね

- 3.17【中峠】シヨビ 舛(1) 飯泉仁・飯泉久美子
以後一週間、まったく出会えません。 松本勝英
- 3.21【中沼田】ヲウガンボウ(1) 鈴木静治
田の上空を飛び建物の屋根に止まる
- 3.24【高野山新田】クヰ付(2) 船津登
水辺で動く
- 3.24【鷺野谷】ノリ(1) 飯泉仁・飯泉久美子
- 3.26【片山(手賀の丘公園)】材カ(1) 船津登
林の中でキョキョと鳴く
- 3.27【大井新田地先上沼】ヲカ(1) 吉田隆行
飛翔
- 3.28【中峠】サバ(2) 今期の初認。久し振りに、「キスマー」の
声、感激しました。桜と同様、昨年より 10
日ほどは早い渡来。 松本勝英
- 4.04【鷺野谷新田】ヲカキ(1) 百瀬喬
水を少し張った田圃で採食中のチュウサ
ギを発見。今シーズンの初見。
- 4.05【手賀沼】ハン(2)下沼 2 金子雅幸・船津登・桑森亮
- 4.05【手賀沼辺】ハブサ(1)上沼 1 金子雅幸
- 4.05【非公開】ツ(1) 飯泉仁
鳴きながら移動
- 4.05【布佐】カカ(1) 鈴木静治
鬱蒼とした森より 6 回鳴き声
- 4.05【岡発戸新田】シヨビ 舛(1) 鈴木静治・間野吉幸・池田日出男・蒲
田知子・千葉洋・古出洋子
- 4.07【大井新田】ミカ(1) 吉田隆行
カラスにモビングされて飛翔
- 4.07【手賀新田(手賀川)】材カ(1) 船津登
草に止る
- 4.07【布佐平和台】カカリ(1) 鈴木静治
調整池の水溜中で餌探し
- 4.08【大井新田先手賀沼】カカ(2) 飯泉仁・飯泉久美子
水面を移動
- 4.08【片山新田】クヰ付(1) 葦原の中から鳴き声
- 4.08【布佐平和台】カカリ(4) 調整池の水溜でピッピッピッピッ鳴き飛
び回る 鈴木静治
- 4.08【布瀬】シ(1) 飛翔し移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.08【布瀬】材カ(1) 林周辺を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.09【大森】カキ 舛(1) 谷津田の林縁、繁みにキビタキを見つ
けた。飛び去ることなくじっとしていた。 古出洋子
- 4.10【片山新田(手賀沼側)】カカリ(2) 田で採食 船津登
- 4.10【鷺野谷新田】カカ(3) 上空を飛ぶ 船津登
- 4.11【上沼田】ノリ(1) 田んぼで休む 桑森亮
- 4.11【中峠】サバ(2) 斜面林上を飛ぶ 桑森亮
- 4.13【片山新田】カカ(1) 水たまりのある苅田で採餌 吉田隆行
- 4.14【染井入新田】カカ(5) 沼の葦に止まり餌探し 鈴木静治
- 4.14【片山】カカ(1) 鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.14【染井入新田】カカ(1) 上空を滑空するが、ハシボソガラス 2 羽
にモビングされる 鈴木静治
- 4.14【染井入新田】カカ(5) 沼の上空を飛ぶ、水面に浮かぶ 鈴木静治
- 4.14【第 2 機場】カカ(1) 桜の木で採餌 吉田隆行
- 4.14【戸張新田】カカ(2) 水たまりのある苅田で採餌 吉田隆行
- 4.14【鷺野谷】ヲウガンボウ(1) 上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 4.16【片山(手賀の丘公園)】カカ(1) 地上で採食 船津登
- 4.16【片山(手賀の丘公園)】シ(2) 木に止る 船津登
- 4.16【北新田】カカ(約 50 羽)

ムナグロの群れに 2 度も遭遇！今春の初
 認。 畠中暁美

4.16【北新田】フウヅク(8) 北新田
 畠中暁美・桑森亮・松田幸保・
 高波宣子・佐藤さなえ他 6 名

4.16【北新田】死ハリ(30)北新田
 畠中暁美・桑森亮・松田幸保・
 高波宣子・佐藤さなえ他 6 名

4.16【北新田】ツヅク(1)北新田
 畠中暁美・桑森亮・松田幸保・
 高波宣子・佐藤さなえ他 6 名

4.16【片山(手賀の丘公園)】ルビヅク(1)
 地上で採食 船津登

4.17【湖北台】カガ(5)
 3 羽はケヤキの樹間を動き、2 羽は巣を出
 入り 桑森亮

4.20【我孫子】イハヅリ(1)
 我孫子駅北口傍セントラルの駐車場 4 階
 に止まっていた！ 畠中暁美

4.20【古戸】オシヅク(1)
 葦原で枯葦を啜え止まる。初認
 鈴木静治

4.21【正蓮寺】カガ(17)
 調整池の水面で休んでいた
 飯泉仁・飯泉久美子

4.22【高野山新田地先(手賀沼)】ヒキ(1)
 葦原の湿地で鳴き、動く 桑森亮

4.22【布佐】マカ(1)
 電線に止まりツーツーピーとゆっくり囀
 る 鈴木静治

4.22【布佐平和台】コト(1)
 調整池の水溜の中を歩く 鈴木静治

4.24【中峠】サバ(2)
 農地から飛び出し斜面林に 桑森亮

4.27【片山(手賀の丘公園)】ヒキ(2)
 木の枝でさえずる 船津登

4.27【中峠】ツヅク(1)
 中峠の水路に、一昨日は 5 羽いました。
 松本勝英

4.28【都部新田】ムカ(約 10)
 木の実を食べる 船津登

4.28【片山新田(手賀沼側)】ツヅク(1)
 水田から飛ぶ 船津登

4.28【布佐】セダ(1)
 森の中で囀る 鈴木静治

4.29【発作】フウヅク(17)
 17 羽が漲水した田んぼで足早に動きつつ

採餌。すぐに 17 羽ともに飛去。 田中功

4.30【高野山新田】材(1)
 上空を飛翔 吉田隆行

4.30【非公開】ツヅク(1)
 鳴き声 飯泉仁

5.01【手賀沼辺】ヒ(1)下沼 1
 金子雅幸・船津登・桑森亮

5.03【正蓮寺】マカ(1)
 上空を飛翔し通過 飯泉仁・飯泉久美子

5.04【手賀新田】マカ(1)
 水田で採食 船津登

5.04【発作】フウヅク(11)
 田の上を群れで飛ぶ 鈴木静治

5.04【布佐平和台】マカ(1)
 庭の殻付落花生を突く 鈴木静治

5.04【戸張新田】イハ(1)
 水田の畔にすくと立つ 吉田隆行

5.05【発作】オシヅク(約 50)
 葦原、林で囀る 鈴木静治

5.05【発作】アヒ(1)
 下手賀川を泳ぐ 船津登

5.05【片山新田】マカ(約 100)
 上空を鳴きながら飛ぶ 船津登

5.05【下沼田】コト(1)
 道端の叢より飛び出す 鈴木静治

5.07【片山新田】材(1)
 電柱に止る 船津登

5.08【泉】ヒ(1)
 森で囀る 鈴木静治

5.08【染井入新田】カガ(1)
 沼岸より飛び立つ 鈴木静治

5.08【根戸】ヒ(1)
 鳴き声がしばらく続く。根戸の森の方向
 から聞こえた。今年この地域で始めて聞いた
 田中功

5.09【柏 7 丁目】イハヅリ(1)
 住宅の玄関前に止まっていた 吉田隆行

5.10【浅間前】コト(1)
 田の畦で鳴く 鈴木静治

5.10【浅間前】マカ(約 30)
 水田の畦で群れ休む 鈴木静治

5.11【亀成川周辺】ヒ(1)
 印西亀成川周辺で 5/11 頃から聞かれて
 いました。 古出洋子

5.12【布瀬新田】ツヅク(1)
 水田で餌を物色 飯泉仁・飯泉久美子

5.12【大井新田】オシヅク(1)

- 葦原で鳴いていた 飯泉仁・飯泉久美子
 5.12【上沼田】ヲウツクシヅ (2)
 水田で採食 船津登
 5.12【布瀬新田】ツバメ (1)
 水田で餌を物色 飯泉仁・飯泉久美子
 5.14【片山(手賀の丘公園)】ツバメ (2)
 船津登
 5.15【大森】ツバメ (1)
 家の周辺では1週間前から盛んに聞かれます 古出洋子
 5.15【北新田】ツバメ (1)
 畠中暁美・松田幸保・高波宣子
 ・佐藤さなえ他 9名
 5.15【北新田】ツバメ (5)
 飛翔 畠中暁美・松田幸保・高波宣子・
 佐藤さなえ他 9名
 5.15【北新田】ツバメ (2)
 畠中暁美・松田幸保・高波宣子・
 佐藤さなえ他 9名
 5.15【北新田】ツバメ (1)
 水路傍 畠中暁美・松田幸保・高波宣子・
 佐藤さなえ他 9名
 5.17【白山3丁目】ツバメ (1)
 深夜自宅で鳴き声を聞いた 間野吉幸
 5.20【手賀】ツバメ (1)
 電柱に飛来 飯泉仁・飯泉久美子

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカエリカイツブリ、
 アカハラ、アマサギ、イカルチドリ、イソ
 シギ、イソヒヨドリ、ウグイス、ウズラシ
 ギ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オ
 オバン、オオヨシキリ、オカヨシガモ、オ
 ナガ、カイツブリ、カケス、カモメ、カル
 ガモ、カウウ、カワセミ、カワラヒワ、カ
 ンムリカイツブリ、キアシシギ、キジ、キ
 ジバト、キビタキ、キョウジョシギ、クイ
 ナ、クサシギ、コガモ、コゲラ、コサギ、
 コチドリ、コブハクチョウ、コムクドリ、
 サシバ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタ
 キ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セ
 グロセキレイ、セッカ、センダイムシクイ、

ダイサギ、タカブシギ、タシギ、タヒバリ
 チュウサギ、チュウシャクシギ、チュウヒ、
 チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、
 トビ、ノスリ、ハクセキレイ、ハシブトガ
 ラス、ハシボソガラス、ハヤブサ、バン、
 ヒクイナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、
 ビンズイ、フクロウ、ホオアカ、ホオジロ、
 ホシハジロ、ホトトギス、ミサゴ、ムクド
 リ、ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、
 ユリカモメ、ルリビタキ 計 84種
 <番外種> カワラバト、コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	273
飯泉仁・飯泉久美子	207
金子雅幸	1
金子雅幸・船津登・桑森亮	49
桑森亮	26
古出洋子	3
鈴木静治	250
鈴木静治・間野吉幸・千葉洋	18
鈴木静治・間野吉幸・池田日出男 ・蒲田知子、千葉洋、古出洋子	20
田中功	4
畠中暁美	11
畠中暁美・桑森亮・松田幸保 ・高波宣子・佐藤さなえ他 6名	30
畠中暁美・松田幸保・高波宣子 ・佐藤さなえ他 9名	23
畠中暁美・高波宣子・桑森亮 ・松田幸保・佐藤さなえ他 6名	3
船津登	141
間野吉幸	35
松本勝英	12
村井みとい	2
百瀬喬	1
吉田隆行	21
総計	1130

(弘實和昭)

【会員だより】(ab-yacho より)

【チュウサギの初見】

2018.04.04 百瀬喬

本日、手賀沼下沼南岸の鷺野谷新田の水を少し張った田圃で採食中のチュウサギを発見しました。今シーズンの初見です。

【中峠のサシバはやっぱりペアです】

2018.04.05 松本勝英

一昨日(4/3)午後5時ごろ、なんとサシバの交尾に遭遇しました。昨年の両個体ペアかは未確認ですが、間違いなくペアです。1羽が地上から朽木(地上2m位、横一文字)の先端に飛び上がったところに、隣の竹林から舞い降りてきた1羽が並ぶや、突然、行為に及びました。カメラのズーム、ピント合わせは時すでに遅しで、撮れたのは並んでとまっている“ツーショット”だけでした。4~5秒程度だったと思います。昨日は、仲良く鳴きながら飛びかっていたし、今日は1羽が最高位の樹頂で見張り他の1羽は、向かい側の樹間からフジの若葉越しに私を睨んでいました。

【ツグミの囀り】

2018.04.08 平岡考

山階鳥研の平岡です。先頃のメールで、春先はいろいろ面白いものが見られるシーズンで、留鳥の交尾や求愛給餌や、冬鳥のさえずりが聞かれることもあるので、ぜひ気にしてほしい旨、書きました。それを書いた翌々日の、先週日曜日、4/1にさっそく、都内の緑地でツグミの囀りが聞かれたので録画しました。

【Re ツグミの囀り】

2018.04.09 古出洋子

このところ、囀りについての情報が寄せられていますが、私も今日の夕方、いつもの谷津田の林縁(南側に面した)を犬の散歩に出かけました。突然小鳥の警戒の声があったので声の主を探したら、2mもしない繁みにキビタキを見つけました。飛び去ることなくじっとしていました。10数年通っている散歩道ですが、キビタキを見たのは初めてで体調の良くない日でしたがラッキーな気分を満たされました。

【Re キビタキの通過、ツグミの囀り】

2018.04.10 平岡考

キビタキのお知らせありがとうございます。渡りの途中のキビタキが見られたとはラッキーでした。ぱっと分かったということは雄だったということなんですね。

【ツミ今期初確認】

2018.04.10 新堀正則

エリア外ですが、八柱霊園でツミを今期初確認しました。去年営巢した場所と同じところ。今年も温かく見守りたいものです。

【Re キビタキの通過、ツグミの囀り】

2018.04.11 古出洋子

キビタキは、お腹の黄色とオレンジ色がきれいに見えましたので雄です。今月の初めに伊豆松崎に行った際、電線に音色の美しい鳥が止まっていたのですが、曇り日で見分けが付きませんでした。青色がなかったのでオオルリ?と誤ってしまいました。地元の方が「イソヒヨドリでしょう」教えてくださったのですが、半信半疑でカメラに収め拡大してみるとやはりイソヒヨドリの雄でした。我孫子市の方々はイソヒヨドリの美声をお聞きになっていることと思いますが、イソヒヨドリの囀りの美しさ后感嘆させられました。今年の4月は良いことの連続です。

【Re キビタキの通過、ツグミの囀り】

2018.04.12 平岡考

返信ありがとうございます。雄だったんですね。キビタキの雄は見応えがありますね。だいたいの小鳥は雄が先に渡ってきて縄張りをかまえたところに雌が渡ってくるそうです。ご覧になったキビタキもこれから山の繁殖地に行って縄張りで囀ろうというところなのでしょう。

イソヒヨドリは確かに美声でさえずりがちょっと尻下がりがだったりして、ちょっとオオルリかなと思うときがあるかもしれませんね。でもオオルリは標高の低い場所の電線にはとまらないかもしれませんね。

【Re キビタキの通過、ツグミの囀り】

2018.04.12 古出洋子

いろいろお教えいただき有難うございました。
「フィールドガイド日本の野鳥」を見ましたら、イソヒヨドリの方が約10cmも大きいし、さえずりもだいぶ違いました。最も大きな違いは棲息地だったのですね。

【中峠にツミ 飛来？】

2018.04.27 松本勝英

本日、午後4時過ぎ、聞きなれない鳴き声がありました。ピョウ、ピョ、ピョツ、ピョとリズムカルな声がしばらく連続しています。トビにしてはおかしいなと思いながら、見上げるといつもは、カラスかサシバの常連が見張りに使う枯一本杉に小振りな猛禽が止まっています。後ろ姿（茶系）でしたが、少し長めの脚でもものあたりが横斑でツミ と思いカメラに収めました。やや離れた竹林にサシバが地上から飛び上がったので北東方面に飛び去ってしまいました。

【アマサギ、今年の初見です】

2018.04.29 畠中暁美

昨日、暫くぶりに北新田に行ってみました。水田の上をツバメも飛び交い、チョウゲンボウはホバリング、やはりオオヨシキリは来ていました。（例年は22日、23日が多いですが）だいぶ田植えが進んでいて、三分の一くらいは終わっていました。暖かい日が続いて苗が育ちすぎてしまったようです。そしてチュウサギが多く見られましたが、中に耕運機のすぐ傍にアマサギが1羽！今年の初見です。クサシギ、コチドリもよく見られます。ギョギョシの声が聞かれると北新田も賑やかになります。

【中峠のサシバ、カルガモと対決、緊張の一日】

2018.05.04 松本勝英

最近の中峠のサシバは、抱卵に入ったらしく1羽しか姿が見られません。それも、隔日に一度ですが今日は、珍しく朝、夕に会えました。特に今夕は、草原で狩りをしていたサシバにカルガモが歩み寄っている様子。当然、緊張の雰囲気でしたが、カルガモがもう1羽加勢に入って、両ばさみとなり、多勢に無勢と傍の竹に飛び上がり、下の田んぼにまで追いかけたカルガモを見下ろしていました。

それにしても、カルガモの行動（水のない草原での）の意図がさっぱり分かりません。遭遇前に、巣からカラスにより卵を盗られた腹いせなのかも知れません。（冤罪・誤解...?）

【キビタキ × の争い】

2018.05.05 新堀正則

エリア外ではありますが、先日市川大町公園でキビタキを息子の暖人と観察していました。1羽のキビタキの囀りがしていて姿を探していたところ、すぐ近所で別なキビタキの囀りがしたと思いきや、いきなり樹上から、黒と黄色の物体がバタバタと組んず解れつで地面付近に落ちて来たかと思うと、物凄い勢いで低空飛行で追っかけっこが始まりました。距離的には足元で1メートルくらいの距離でした。石橋の下をくぐり抜けてあっという間

に姿を消しました。2羽のキビタキの でした。初めて見る行動にびっくりしました。
他にセンダイムシクイとコサメビタキを確認しました。

【ホトトギス、中峠を初通過？】

2018.05.22 松本勝英

たった今、ホトトギスが鳴きながら通過した模様！2～3分後にまた、鳴き声がしました。
私にとって初認です。「5月22日、午後6時35分、薄暮」を記録します。

【Re ホトトギス、中峠を初通過？】

2018.05.22 古出洋子

松本さん こんばんは 印西亀成川周辺では5/11頃から聞かれていました。
家の周辺では1週間前から盛んに聞かれます。
21日夜半アオバズクの鳴き声で目が覚めました。そして先ほどからも南の方のほど近い
辺りから聞こえます。
30年余り前でしょうか、隣家に巨木がありそこにアオバズクが巣造りをしていました
がその後枝をほとんど払ってしまったため、こんなに近くで鳴き声を聞いたことはありません
でした。

会からのお知らせ

< DVD 発売中 >

会報前々号(261号)でご案内した2017年度会の活動記録DVDは好評発売中です。
会員限定(@300円)です。ご希望の方は担当幹事相良、北崎までお申し込みください。

< 新入会員紹介 >

岩本二郎(我孫子市在住)
落合 聡(流山市在住)

< ご寄付 >

平岡考さんよりご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

ほーほーどり No. 263 (2018年7~8月号)

発行 2018年7月1日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、千葉洋、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台2-15-17 桑森亮 Tel: 04 7182 3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)